

マノールARGメッシュ工法

ドクターQ及び、TA MESHによる
コンクリート構築物の躯体保護工法

標準仕様書

側壁・上床コンクリート補修

【コンクリート片はく落対策工】



株式会社 **マノール**

マノールARGメッシュ工法 標準仕様書

1. 摘要

本仕様書はコンクリート構築物のはく落防止・躯体保護及び、表面仕上げを目的としたライニング工事に摘要する。

2. 使用材料

- | | |
|------------------------------|--|
| 1) ドクターQ(ライトF3) | ・特殊急硬性プレミックスモルタル(軽量・繊維入り)。
※ 樹脂で混練りし、ポリマーセメントモルタルとして使用。 |
| 2) ドクターQ (スーパーライト)
(ライトJ) | ・特殊急硬性プレミックスモルタル(超軽量・繊維入り)。
・特殊急硬性プレミックスモルタル(軽量・高強度)。
※ 樹脂で混練し、断面修復用ポリマーセメントモルタルとして使用。 |
| 3) マノールアクリット | ・カチオン系アクリルエマルジョン
※ ドクターQに混入し、ポリマーセメントモルタルとして使用。
※ 施工面に塗付して断面修復材のプライマーとして使用。 |
| 4) マノール防錆剤 | ・特殊変性エマルジョン: 錆転換型防錆剤
※ 露出鉄筋面に塗付して使用。 |
| 5) マノールTA MESH | ・耐アルカリガラス(ARG)3軸連続繊維シート
※ 剥落防止・モルタル補強用副資材として使用。 |
| 6) マノール含浸プライマー | ・ひび割れ含浸及び、ポリマーセメントモルタル用接着剤
※ 高架橋補修の場合表面仕上げ材として使用。 |
| 7) マノールトップコートAS | ・水性シリコン系保護塗料
※ 高架橋補修の場合表面仕上げ材として使用。 |

3. 施工手順

(1) 側壁・上床コンクリート補修【鉄筋保護及び不陸調整工】

1. 下地処理



2. 接着増強剤 (プライマー)塗付 (欠損部補修)



3. 欠損部補修



- 1) 施工対象面及び、施工対象区画面の汚れ・付着物(塵・埃)等はディスクサンダー・ブラシ・研磨紙・水洗い等により除去する。
- 2) モルタル・コンクリートの浮き・脆弱部分は電動ピック・ディスクサンダー等でハツリとる。
- 3) 構築コンクリート面に結露がある場合、換気及びバーナー等で施工表面を乾燥させる。
- 4) 鉄筋の露出部分はスクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨紙により、浮き錆を完全に除去し、マノール防錆剤を塗付する。

* マノール防錆剤 : 標準塗付量 ⇒ 120g/m²

* 施工面に欠損・不陸等がある場合、予め下記の方法により処理する。 ※はつりエのある場合、カッター等で目地切り・整形後行う。

- 1) 欠損部施工面にプライマーを刷毛等により塗付する。

* プライマー標準調合 及び、標準施工量

マノールアクリット	水	塗付可能m ² 数
18.0 kg	36.0 kg	約180 m ²
0.1 kg/m ²	0.2 kg/m ²	1.0 m ²

* プライマー : 標準塗付量 ⇒ 0.20 ~ 0.3kg/m²

【注意】 施工面が著しく乾燥している場合はドライアウト防止の為にプライマーを2度塗りする。

- 1) プライマー塗布後、所定の調合によるドクターQ(ライトJ)をコテで施工対象面に充填し、表面が平滑になるよう塗りつける。

* ドクターQ(ライトJ)標準調合 及び、標準施工量

ドクターQ(ライトJ)	マノールアクリット	水	塗付可能m ² 数
15.0 kg	1.2 kg	2.4 kg	約 10ℓ(練上り)
15.0 kg	1.2 kg	2.4 kg	約 10mm/m ²

※ マノールアクリット+水 / ドクターQ(ライトJ) = 24.0%

※ 下地コンクリートがPC等高強度の場合以外はドクターQ(スーパーライト)の使用も可能。

(2) 側壁・上床コンクリート補修【はく落対策工】

4. プライマー塗付
(ひび割れ含浸材)



5. ホリマーセメントモルタル
〔下塗り〕



6. ネット(メッシュ)貼り付け



7. ホリマーセメントモルタル
〔上塗り〕



1) 欠損補修部硬化後、施工面にマノール含浸プライマーを刷毛・ローラー等により塗付する。

* プライマー標準調合 及び、標準施工量

主剤	硬化剤	塗付可能m ² 数
6.7 kg	3.3 kg	約 50 m ²
0.13 kg/m ²	0.07 kg/m ²	1.0 m ²

* プライマー : 標準塗付量 ⇒ 0.18 ~ 0.24kg/m²

1) ネット(メッシュ)貼り付け(割り付け)後、所定の調合で混練したドクターQ(ライトF3)をコテ等で、ネットに縀り・浮きが無く、ネットが見えなくなるよう平滑に塗り付ける。

* ドクターQ(ライトF3)標準調合及び、標準施工量〔標準塗り厚:2mm程度〕

ドクターQ(ライトF3)	マノールアクリット	水	塗付可能m ² 数
15.00 kg	1.10 kg	2.20 kg	約 5 m ²
3.00 kg	0.22 kg	0.4 kg	約 1.0 m ²

※ マノールアクリット+水 / ドクターQ(ライトF3) = 22.0%

* ドクターQ(ライトF3) : 標準塗付量 ⇒ 3.66 kg/m²

1) プライマー乾燥後、縀り・浮き等がないよう連続繊維シートを割り付け、下塗りモルタルに埋め込むコテで抑える。

1) 所定の調合で混練したドクターQ(ライトF3)をネットの目が隠れるよう、コテ等で平滑に塗り付ける。

* ドクターQ(ライトF3)標準調合及び、標準施工量〔標準塗り厚:2mm程度〕

ドクターQ(ライトF3)	マノールアクリット	水	塗付可能m ² 数
15.00 kg	1.10 kg	2.20 kg	約 5 m ²
3.00 kg	0.22 kg	0.4 kg	約 1.0 m ²

※ マノールアクリット+水 / ドクターQ(ライトF3) = 22.0%

* ドクターQ(ライトF3) : 標準塗付量 ⇒ 3.66 kg/m²

8. トップコート塗付
〔仕上塗り〕

1)ポリマーセメントモルタル〔上塗り〕が硬化乾燥後、所定の調合で混練したマノールトップコートASを刷毛・ローラー刷毛等で、ムラのないよう均一に塗り付ける。

* マノールトップコートAS 標準調合 及び、標準施工量

マノールトップコートAS	塗付可能㎡数
16.00 kg	約 53 ㎡
0.30 kg	約 1.0 ㎡

* マノールトップコートAS:標準塗付量 ⇒ 0.3 kg/㎡ (2回塗り)

※ カラートップAS下塗り(1回目)は状況により、清水で5~10%程度

4. 施工略図

希釈可。上塗り(2回目)は無希釈で塗付する。

